

☆登山とハイキングの  
普及と向上に全力をあげよう  
☆力をあわせ何としても  
300名会員を回復しよう

ろうさんKAGAWA  
県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟  
No.51-6 2017. 8. 30  
高松市松縄町1005-4  
電話：087-865-7521

# 冬山までに本格的な仲間づくりを 9・10月を会員拡大月間に設定!!

県連総会から半年。この間の仲間づくりでは各会の奮闘にもかかわらず11-16で増勢になっています。各会が掲げた総会目標とは大きな開きがあるので、この秋、大いに頑張りましょう。決意と具体的な手立てが重要です。

## 拡大三役会議で熱く論議

8月27日午後、善通寺市民会館において、県連8団体・23人参加で開催。テーマ：会員拡大三ヶ年計画の具体化と実践の交流。

★阿部会長があいさつ、県連の現況及び全国連盟の最近の動向に触れて、「ハイキングスタンダード」作成の取組、リニア新幹線工事による南アルプスの自然破壊や周辺住民の生活に影響が深刻化している問題で署名活動要請が来ていることが報告された。

★山下理事から、組織部として活動報告と改めて会員拡大の提起を行った。この間に2回開催された拡大担当者会議及び3月から発行している県連だよりで各会の山行を掲載していることなど資料を配布して報告した。

300名会員回復・三ヶ年計画を成功させるため、9月、10月に会員拡大を位置づけて取り組み、会員拡大目標に目途をつける。そのために、例会や運営委員会で議題に上げて、会員の協力を得て会員拡大に取り組んで頂きたいと提案した。

★報告を受けて、各会からこの間の会員拡大や活動の経験が報告された。

一般公募登山や会主催の写真展を開いて好評であった。写真展は3つの会で取組まれ、苦労やアイデアも出された。

HPを通じて入会しているケースが多く、頻繁に更新することでアクセスが増えることや、フェイスブックやSNSの活用も関心が高く、魅力的なブログを発信して行きたいと考えている会が多かった。

## 盛況！ 四国ブロッツ沢登り研修会

8月19日から20日にかけて四国ブロッツ沢登り講習会が開催され、総勢38人が参加。

19日は、黒森峠経由で面河の笠方キャンプ場に着き、テントを設営して、12時30分から講習。まずは、愛媛県連の太田さんから「沢登りの楽しさと危険性について」の講義。

- ★パーティーの行動は、SLが先行して、次に初心者。最後にCLが歩いてメンバーを統率すること。
- ★出発前には、1/25, 000地形図に沢の支流、尾根を書き込み、パーティー全体でエスケープルート等を確認する。
- ★行動中は、現在位置を確認しながら行動することなど貴重な経験に基づく話をいただきました。

次に、各県連から沢の安全対策についての報告がありました。この後、ロープの結び方の実技講習、最後に、沢の徒渉の仕方（末端交換三角法）をやって、17時過ぎに終了して、各会毎に夕食となり、交流会で各自自己紹介と＜マイブーム＞の報告をして大いに盛り上がり。

20日は5時起床、7時に坂瀬川に向けて出発しました。道路の脇の空き地に数台ずつ駐車しながら最後のゲート脇には8時10分着。

8時40分に川に向かって赤テープの箇所から尾根を下りました。所要所にも赤テープがあり、8時45分に谷に降り立ちました。

最初は、白い花崗岩のナメが続き、小さい滝はどれも直登できます。途中ゴローがあり、今度は赤い岩の花崗岩のナメになりました。大きな釜では泳ぐ者もいました。堰堤は右岸から高巻きました。

11時に二股に着き右の沢（樽ヶ谷）へ。再びナメが続きまして。へつったり、流れの中進んだりして、12時10分に堰堤状の滝に出て遡行を終了しました。

◆今回は、3度目の正直で坂瀬川を遡行することができました。ほとんどがナメですが、適当に直登できる滝があり、大満足しました。《五色の峰ブログより》



また、毎回ブログ掲載は大変で、特定の人に負担にならないよう役割分担している会もあった。

また、口コミによるお誘いも大切で、その際パンフレットやチラシを求められたとか、山の会お誘いのチラシ裏面に山行計画予定表を掲載し、初級登山にお誘いしている会があった。

折角入会しても退会する会員も少なくなく、入会後のフォローも大事で、ここ1~2年の入会者を大切に会員の質の向上もめざしている会の報告もあった。

「県連として讃岐山脈を全国に発信していく企画をしてはどうか」と提案されたが、実現するためにはかなり労力が要り各会の意見を求めたが当面見送りとなった。貴重な提案であるが、簡単ではないので今後の課題としたい。

最後に同席された全国連盟・鶴田基金運営委員(千葉山の会)に感想を求めた。千葉県連でも会員拡大が中心課題で、入会しても止めていく会員が多数いた。新入会員のフォローが大事で担当を決めてフォローしている会は成果を上げている。私の所属する千葉山の会は95%が個人山行である。房総にはあまり高い山は無いが、「房総の山50選」を編纂しそこに登ろうと取り組んでいると語った。

市原理事長がまとめを行い、2018年度のカレンダーを紹介して終了した。

記》事務局長：前田 十 組織部：山下

## 2017遭難を考える集い

拡大三役会議に先立つ27日の9~12時、善通寺市民会館にて、8団体28名が参加して開催しました。

★今年新特別基金の理解と加入促進を図るため、

「遭難対策のための労山新特別基金制度を正しく理解しかつようするために」というテーマで開催した。

講師として全国連盟から鶴田秀雄委員をお招きした。新特別基金については、十分理解ができていない会員もいるかと思われる(自分も含む)。また、新特別基金の各会担当者においても、個々の事案に対しての取り扱いにおいては判断もつきにくいこともあるだろう。鶴田委員がこの会議のため用意してくれたテキストと具体例をもとにした講習は大変わ



かりやすかった。とくにテキストはこれまでになくなりやすくとまっていた。今後、全国で新特別基金のテキストとして使われるのではないかな。

内容としては、例えば3倍交付を申請するにあたっての条件のうちコースタイム5時間以内の判断は昭文社の地図が使われる(ない場合はガイドブック、分県ガイド等)といったこと。見舞金制度は個人山行における会員+会員外山行は対象にならないことなど参考になった。また、救助・捜索における交付は救助隊員が対象となること。ただし、事故発生当該会の救助隊員の日当は対象にならないことなども知った。

交付対象外の事故としては、飲酒が原因の事故は対象とならないとのこと。山でお酒を飲むことを楽しみとしている会員もいることだろうが、アルコールが残った状態で山行しないようにしなければならない。

申請事務については、事故一報を30日以内に遅れないよう出すことを強調されていた。事務手違い、傷病の様子見などで遅れるケースが結構あるとのことである。

また、提出義務がある山行計画書においては提出日と受理日があることが条件であること。山行計画書提出を要しないと決められた(たとえばゲレンデ岩場のトレーニング等)においても参加名簿の提出が必要であることなど申請事務上のことが分かった。

★講習のあと質疑。無事故報奨金制度についての質問。登山学校・市民公開登山での交付条件などについて質問があった。

★このあと各会から新特別基金の加入状況、申請体制について報告があった。あわせて各会の事故報告があった。今年度、重大事故としては、岩場からの転落によるものがあつたとのことである。

★感想：内容が充実していて、熱心な聴講により新特別基金の理解が進んだと思う。参加者においては得た知見を各会に持ち帰り会員に普及してもらいたい。

新特別基金は通常の保険と違い、互助により安全登山に寄与するものであること、制度・運用について直接質問でき、改善も直接的に働きかけられるものであるので、この制度を大切にしていきたいと思つた次第である。(報告 高松勤労者山の会 加藤)

# 恒例の夏山合宿「針ノ木岳・蓮華岳」

さぬき山歩会 谷本 雅彦

期間：7月14日（金）～7月17日（月）

参加：10名 CL谷本・筒井・真柴・喜馬・荻田・佐藤・漆原・  
植松・山下・市原（高松HG）

## ☆7月14日（金）

20時50分に高松出発。高松檀紙ICから安曇野IC 扇沢駅の駐車場まで4人で交代して運転。



## ☆7月15日（土）

扇沢駅の駐車場に6時着。快晴。

はやる気持ちを抑えながら洗面などを終え6時30分出発。最初はまず大沢小屋まで。

8時40分 大沢小屋着 予定より10分遅れて着く。

8時55分出発 次は雪溪の取り付き地点。大沢小屋からそれほどかからないと思っていたがこれが以外に時間がかかった。

9時40分 雪溪の取り付き地点着。

待望の雪溪である。日本三大雪溪の一つに来た。降りてみると、風は冷蔵庫を開けた時に顔に受ける気持ちよさがありました。軽アイゼンをつけ足元に神経を集中して雪溪を歩く。最初は快適だった雪溪も小一時間も歩くとだんだんときつくなり2/3位で少しバテ気味でした。

13時50分 針の木小屋着。約50分遅れの到着でした。

小屋に着くと天候は抜群で、槍ヶ岳など周りの山々がはっきり見え、たまに富士山も見ることができました。写真撮影等も十分楽しめたひと時でした。

## ☆7月16日（日）

5時起床。昨晚の夜にミーティングで蓮華岳に決めていたので6時20分に小屋を出発。天候は、少し風がきつかったが快晴の中登っていく。途中コマクサのかわいらしいピンクの花の群生がありとてもすばらしい景観で感動しました。

7時20分蓮華岳山頂。

8時50分 針の木小屋着。

9時25分 針の木小屋出発。軽アイゼンをつけ雪溪を下るのはしんどかったが快適でした。ゆっくりおりてきて、14時15分 扇沢駅着。無事10名下山。

## ☆7月17日（月）

朝7時起床。安曇野ICを9時にのり、渋滞には巻き込まれず17時25分高松着。

## 2017女性交流登山のご案内

日時：10月22日（日）日帰り 7:30三豊市役所集合 16:00解散

場所：七宝山縦走 吉津峠・志保山426m～七宝山445m～稻積山～高屋神社

※申込み締め 9月19日（火）翌20日理事会で最終集約

各会の山行一覽とこれからの山行予定 ◎例会山行 ☆個人山行

Table with columns: 会名, 7/24~8/27の山行内容 (月日, 山行名, C L, 参加), 9月予定 (日, 山行名), 10月予定 (日, 山行名). Rows include various hiking groups like 高松, 五色の峰, さかいで, 塩飽, 善通寺, あけぼの, 観音, and 県連など.

9月県連行事

- ◎02日(土)・03日(日) 救助隊訓練 岩場での救出訓練 大屋富にて
◎05日(火) 県連登山学校 講義：計画と安全登山
◎15金~18月 県連登山学校 実技：加賀白山
◎20日(水) 県連盟第6回理事会 (高松)

